

# ともに励まん



2018, 12, 6 (木)

北海道旭川永嶺高等学校 2 年次だより 第 35 号 (通巻 80 号)

## 「志あるところ」に道は開ける

第 3 期の平常講習が始まりました。国語 63 名、数学 105 名、英語 86 名の参加申込みとなっています。各科目わずかに 2 回ずつですが、実りあるものにしましょう。実りあるものにするとはどういうことか？ 予習の有用性はもちろんですが、復習によって、身につけることの方が重要です。知識、技術は頭で覚えていても何にもなりません。使えてこそ、意味があるのです。使える知識となるためには、復習。繰り返して繰り返して、身に付けることなのです。

なお、冬休みの「勉強合宿」には 93 名の申込み。1 月進研模試には 139 名の申込みがありました。このあと、「冬期講習」の申込みが来週 10 (月) まで。近く、「2 月センター早期模試」の募集もあります。

「3 年間の見通し表」「3 ヶ月の見通し表」などもらんで、より、自己を高めていきましょう！



## 「永嶺遺産」に目を通そう

3 年生はいま、国公立の推薦入試の結果が出ています。私の所へ小論文の添削指導に来ていた生徒も、涙を流しながら合格の報告に来た人、沈んだ表情で残念だった報告に来た人がいました。

来年はぜひ歓喜の報告をたくさん受けたいものと思います。



ところで、みなさんは、教室の「受験報告書」を読みましたか？ 推薦入試、一般入試の、面接や小論文などの個人ごと受験報告です。貴重な資料です。「永嶺遺産」です。活用しない手はない。受験間際になってから見るのではなく、いまから自分の志望先の試験がどのような形、内容で行われ、実際に受験した先輩からどんなメッセージ (アドバイス) が残されているのか、ぜひ、目を通してみましょう。

## 進路実現に向けた初めの一步

自分のやりたい学問はなにか？ それはどんな領域 (どんな専門性で、どんな今日的課題を抱えた分野なのか？) 将来自分はどんな仕事に就いていたいのか？

こうしたことを、いま、ぜひ、早急に考えてもらいたい。

なぜなら、それが受験対策に直結するからだ。高校受験の時にはそんなこと考えなかったでしょう？ でも、大学受験や高校後の進路を考える際には、上記のことが、進路対策にぜひとも必要なんです。

前回も書きましたが、来年、「推薦受験希望者」を集められてはじめて、「なぜ教師になりたいのか」「なぜ環境工学を学びたいのか」「なぜ看護師をめざすのか」「どうしてこの学校 (大学) なのか」なんてことを、そこから「う～ん」なんて考えはじめても遅いのです。すなわち、推薦試験の面接、小論文には間に合わないということなんです。推薦だけではありません。一般入試にしても、強く、堅い「志」がなければ、最後の底力は発揮できません。



## いま、その足で面接に行けるか？

服装はじめ「身だしなみ」を含めて、いまその足で「面接試験」を受けられますか？  
ピアスは論外ですが、わからないだろうとやっけていても、目元いじったり、色の濃いリップクリームを塗ったりしている人は、面接では見抜かれます。けっこう細かくチェックされるものです。

そして、質問とその答え。

前述のとおり、先輩の受験報告書を見ると、さまざまな質問を受けます。

印象に残る本は何ですか、どんな作家を読みましたか、新聞は読んでいますか、最近のニュースで印象に残っていることはなんですか？ これらすべてに、即座に、的確に答えられますか？



面接試験を受けることになってから、にわかに「読みやすそうな」ベストセラー本を1冊読んだくらいでは、すぐに「ああ、読書習慣はないな」と見抜かれます。本や新聞を読んでいない、ということから判断されるのは、「ものを読む習慣が無い＝考える習慣も無い」「読む力を付けていない＝考える力もない」「読む力が無い＝入学後の学問研究に耐えられるか＝本学の学生としてふさわしいか」「入学させていいか」となるわけです。

言葉遣いにしてもそうです。

ふだから、その足で面接試験を受けに行っても大丈夫、というくらいの外形、教養、言葉遣い、立ち居振る舞いを心がけていくこと。それが最大最強の「受験対策」「進路対策」です。

がんばりましょう。

## 「検定」積極的に受けよう

来年早々の「英検」と「漢検」の申込み案内がされていますね。

専門高校ですと、年間を通してさまざまな資格検定が行われ、スキルアップを図っていける訳ですが、普通科高校だと、そういう短いスパンの、達成感を味わえる試験がないため、どうしても日頃の勉強が緩みがちになります。ですから、英検や漢検なども自分なりの勉強生活のスパイス的に取り入れてはいかがだろうか。



我が家には「漢検2級」の合格証書が2枚、並べて飾ってあります。1枚はボクの。平成23年第1回。前任校では生徒が多数漢検に挑戦していたので、ボクも一緒に受けてみました。いいわけめきますが、ちょうど出張があったため、最短時間で解答して見直す時間も無く提出したのが、後で悔やまれました。1週間違えて、満点合格できませんでした。その年度の最後の第3回に、高2の次女（＝当時）も挑戦すると言いだし、ヤツはぎりぎり160点超えて合格しました。それがボクの隣の合格証書。

満点に近くてもぎりぎりの合格点でも、同じ「合格」。試験ってそんなもんです。みんなもガンバレ！

### ☆☆☆ 来週の行事と時間割 ☆☆☆

| 12月 |   | 行事等<br>①②は、1校時2校時をあらわします | ★時間割を確認しよう |   |   |   |   |   |   |  |
|-----|---|--------------------------|------------|---|---|---|---|---|---|--|
|     |   |                          | ①          | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |  |
| 10  | 月 | 講習(4) 英語                 | 6時間        |   |   |   |   |   |   |  |
| 11  | 火 |                          | 7時間        |   |   |   |   |   |   |  |
| 12  | 水 | 講習(5) 数学                 | 6時間        |   |   |   |   |   |   |  |
| 13  | 木 | 論述模試                     | 7時間        |   |   |   |   |   |   |  |
| 14  | 金 | 成績会議                     | 6時間        |   |   |   |   |   |   |  |

12月。気持ち切り替えるチャンス！

(文責 伊丸岡)